

# 春の洋ラン展テーマ展示 「ランといってもランじゃないラン展」について

上野明楽・磯部実

## テーマの選定について

春の洋ラン展は、毎年4月末から5月にかけて展示温室で開催するラン展であり、毎年テーマ展示を考えている。今年度は「ランといってもランじゃない」をテーマに、ランと名前が付く植物と実際のラン科植物を並べて展示し、関係するクイズを添えた(写真1)。このことについて報告する。

## 展示した植物の概要(ラン科植物以外)

- マツバラン (マツバラン科 *Psilotum nudum*)
- コウモリラン (ウラボシ科 *Platyserium bifulcatum*)
- クンシラン (ヒガンバナ科 *Clivia nobilis*)
- ハラン (キジカクシ科 *Aspidistra elatior*)
- リュウゼツラン (キジカクシ科 *Agave americana*)
- オリヅルラン (キジカクシ科 *Chlorophytum comosum*)
- コタヌキラン (カヤツリグサ科 *Carex doenitzii*)
- カンラン (甘藍) (アブラナ科 *Brassica oleracea*)

## ラン科植物

- シラン (*Bletilla striata*)
- シュンラン (*Cymbidium goeringii*)
- ブレティアプルプレア (*Bletia purpurea*)
- ギンラン (写真のみ) (*Cephalanthera erecta*)

以上を解説パネルと合わせて展示した。

また、めくりを用意し、その裏に○×クイズを用意した。

## 所感

本展示会は毎回テーマを自由に決め、実験的な展示が可能である。今回のクイズは特に子供をターゲットにしたが、幅広い年齢層で反応があった印象がある。他の展示会や、常設展示であっても、考えて体験できる部分が少ないと感じたため、今回の展示会のようなクイズを取り入れてみようと考えた。次回はランの香りをテーマに、様々なランの香りを文章にしてもらう等の展示を考えている。今後も体験でき、学習にもなる展示を心がけていきたい。



写真1 クイズの様子



写真2 会場の様子